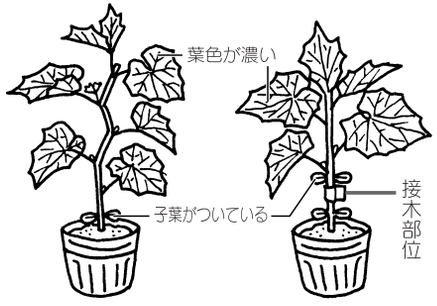
キュウリ

科名	ウリ科
原産地	インド
連作障害	あり(2～3年)

制作
JAファーム 専門部会
(無断転載禁止)

1 苗の選び方

本葉3～4枚で、節間の詰まった苗を購入します。また、苗には自根苗と接木苗がありますが、比較的病気に強く、実つきの良い接木苗の植え付けをおすすめします。



自根苗(じこんなえ)
種から育てた苗

接木苗(つぎきなえ)
カボチャ台木に接木されたキュウリ苗

2 畑の準備・植え付け・支柱立て

土作り

植え付けの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき深く耕します。

土作り
・苦土石灰:1㎡あたり150g
・JAファーム有機堆肥:1㎡あたり2～3kg

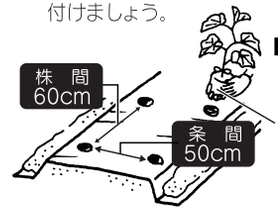
元肥・うね立て・マルチ張り

植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行いマルチを張ります。

元肥
・JAファームきゅうり、とまと専用肥料:
1㎡あたり160～200g
(ひと握り約40～50g)

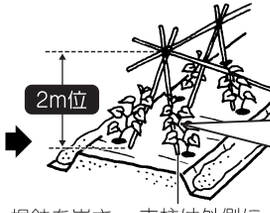
植え付け

植え付けは深植えに注意し、接木苗の植え付けでは、接木部位が土に触れないように植え付けましょう。



支柱立て

※キュウリネットを使うと作りやすい。

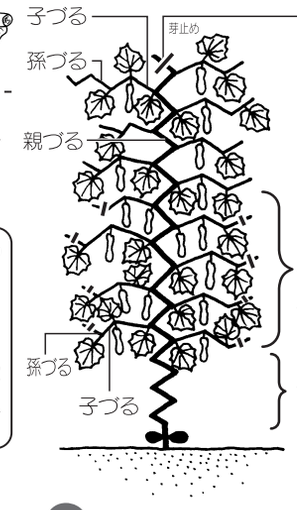


キュウリはつるが伸びるので、支柱を立ててつるを誘引する。

3 整枝(仕立て方)・摘芯(芽止め)

摘芯(芽止め)は、栄養分が無駄に使われず、果実によく集まるように行う作業です。

1本仕立て



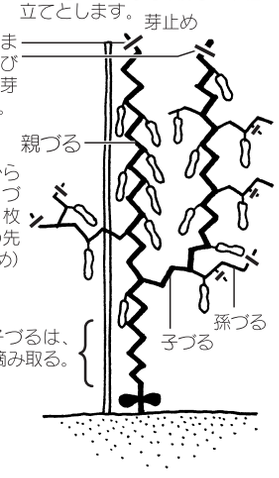
支柱の先端までつるが伸びたら、摘芯(芽止め)を行う。

6節ぐらいから上に出る子づるは、葉を2枚残して、その先を摘心(芽止め)する。

5節以下の子づるは、つけ根から摘み取る。

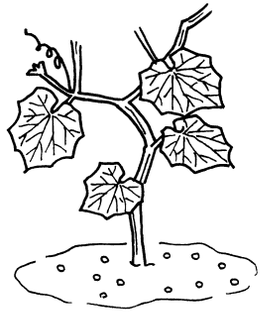
2本仕立て

親づるの6～7節目から出る子づるを1本伸ばし、親子2本仕立てとします。



4 追肥

キュウリの根は、横に浅く伸びるのでそれに合わせた場所に状態をみながら、追肥をします。

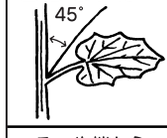


追肥の判断

葉の先が…

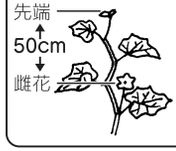
●丸みをおびて大きく垂れれば、チッソ過多。
→ 追肥延期

巻きヒゲが…



●45°の角度でピンと張り、伸び伸びとしていれば適度。
→ 追肥延期
●細く短く先が巻いたら肥料切れ。
→ 追肥する

つるの先端から雌花までの長さが…



●50cmくらいなら適度。
→ 追肥する
●50cmより短ければ肥料切れ。
→ 追肥する
●50cmより長ければチッソ過多で、水分が多い。
→ 追肥延期

5 病害虫防除

キュウリは、定期的な防除が必要です。

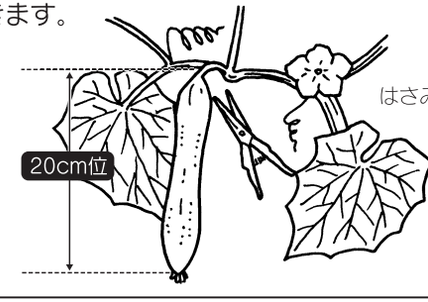
病害虫防除の薬剤は葉裏を初めに行い、後で表にもかける。

病害がつきやすい所

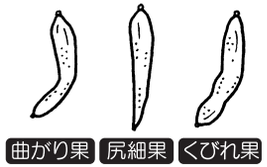
●葉裏、先端付近(アブラムシ)
●下方の葉に角斑(べと病)
●下方の葉全体に、かびのような粉(うどんこ病)

6 収穫

1番果(最初にできる実)は、大きくなる前に早目に収穫します。朝どりした方が水分が多く、おいしいものが収穫できます。



主なキュウリの異常果



曲がり果　尻細果　くびれ果

栄養状態が悪くなると草勢と着果のバランスが崩れ、曲ったものや、先の細いキュウリが多く発生する。
草勢の回復が大切なので早期に若どりを行うこと。